

平成 22 年 11 月 20 日



森づくり集団「<sup>しほり</sup>栞」事務局通信 Vol.26 号

【今月のお知らせ】【今月の活動報告】【次回の活動予定】【お知らせ/募集】  
【編集後記】



カヤノ平自然休養林 北ドブ池は冬の装い

2010.10.31 撮影

【今月のお知らせ】

**平成22年度 第2回理事会の報告**

平成 22 年 11 月 7 日(日) 15:00～15:30 に三芳フィールドにて本年度第 2 回の理事会が開催され、以下の内容について協議した結果をご報告いたします。

(出席者)(理事)小林、神座、土金、渡部、(事務局)緑川

**議題 下富第 2 フィールドの大森氏からの引継ぎについて**

地主さんとの借り受け関係は、「栞」とする。(地主さんと要交渉)

コナラ林を主とする農用林を継続して保全していく。(目標はコナラ林を仕立てる)

活動日は毎月第 1 日曜日を基本とする。(第 3 日曜日等他日は柔軟に対応)

現在、大森スクールに参加している方については、当事者の方の意向をふまえ

「栞」の活動に参加できるように働きかけをしていく。(移行期間が必要か)

上記のような内容をふまえて、「栞」として同フィールドを引き継ぎ活動していきたいとの意向を大森氏伝え、話し合いの中で調整していくことでした承されました。

事務局

【今月の活動報告】

ふじみ野市環境フェア  
10月23日(土)10:00より

福岡中央公園

昨年から参加しています「ふじみ野市環境フェア」が10月23日(土)に行われました。



昨年同様に雑木林の成り立ち、植物等をパネルに展示し、スタンプラリークイズでは「生き物探し」で大いに盛り上がりました。



メンバーによるバードコール作り、シュロバッタ作り、等々指導するメンバーが夢中になってしまいうこともありました。昨年はエゴの木を使ってコースター作りをしましたが、今年は人気がありませんでした。三芳フィールド、Tさんの提供の巣箱にはさすがに雑木林ならではの覗き込む人々もいました。

お天気にも恵まれ人出もまずまず・・・  
来年はもう少し趣向を変えて楽しみたいと思います。

緑川



カヤノ平にて

2010.10.31 撮影

## 秋の観察会

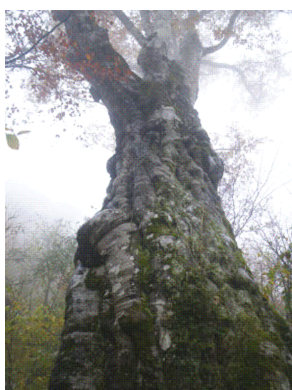
10月30日(土)～31日(日)

## 紅葉のブナ林散策

参加者 / 豊島、杉山、吉田ひ、吉田あ、緑川、小林 (敬称略)

活動担当者 / 土金

今回は、鍋倉高原とカヤノ平のブナ林トレッキングと野沢温泉の外湯巡りです。



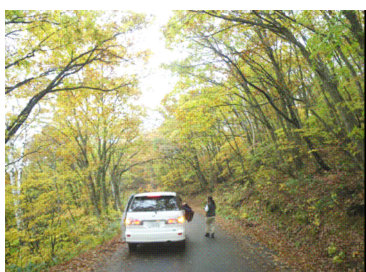
台風が関東地方に接近しつつあり、荒天を覚悟していたが、関越トンネルを抜けると雨が降っていない。鍋倉山登山口から雨の中、「巨木の谷」に出発。ブナの曲がった根で歩きにくい雪道を辿り、尾根を越え、枯れている「森姫」を経て、樹齢300年を越す「森太郎」に到着。幹周535cmの大きさに圧倒される。途中で、Tu氏がナメコをゲットし、大はしゃぎ。下山後、茶屋池の小屋で昼食を取り、大ブナが林立する森をゆっくり散策しながら、ナメコとシロキクラゲを採取。紅葉の山並みを眺めながら、野沢温泉へ。早速、外湯巡りに出発。名湯といわれる「真湯」をスタートに5つの外湯に入湯。とくに、「河原湯」と「大湯」は熱く、体

の先端(?)がしびれるほどだった。夕食では、キノコ鍋に調達したキノコを入れて、賞味する。地酒を嗜みながら、歓談する。



翌朝、残っている外湯に入り、朝市を楽しみ、カヤノ平へ向かう。山に登るにつれ、朝霧が立ち込めていたが、カヤノ平に着いたら、晴れ上がる。ブナとシラカバの混じる美しい森を歩く。台地の一角にかつてカヤの大木があったため、いつしかカヤノ平と呼ばれるようになったらしいが、昭和初期以前には

全域にわたって樹齢200年以上を越すブナが鬱蒼と茂っていたとのことだ。現在のブナ林はもう少し樹齢が若いが、それでも素晴らしい森だ。秋枯れの北ドブ湿原から引き返す。青い実が何の花かわからなかったが、後日、T0氏がルイヨウボタンだと教えてくれた。



山を降り、半濁りする「高社の湯」に立ち寄り、「そば処 竜王荘」へ。オヤマボクチ(山ゴボウ)の繊維をつなぎに使った「須賀川そば」とそばがきを食し、そば祭り会場で買い物をして帰路に着いた。

企画担当・土金

11月7日(日)10:00より

三芳フィールド作業

参加者 / 神座、渡部、緑川、豊島、土金、北沢、小林 (敬称略)

一般参加者 / 「サークルさいたま」の皆様 9名



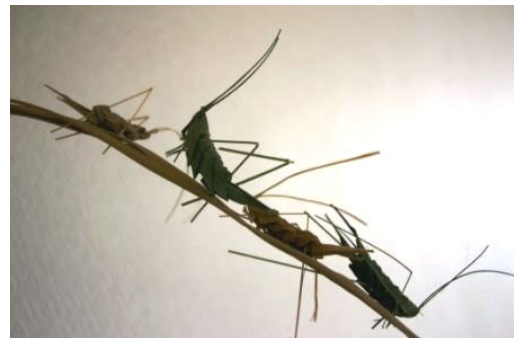
焚き火を囲み、神座氏の三富開拓の歴史や雑木林(地元では『ヤマ』と呼ぶ)の役割などの話を聞く。  
恒例の焼き芋も食べました。

高木のクヌギの伐倒風景。  
玉切りにして、来春になったらキノコを食菌する事にしました。



作業終了後、全員で記念写真を撮りました。  
今回の除伐の体験やバードコール・棕櫚バッタの作成、そして、焚き火と焼き芋。  
皆さん、今日1日の体験に満足されたようです。

今回、渡部氏から『棕櫚バッタ』の作り方を教えていただく。私も家ではいくつか作って練習をしております。作り方は簡単でも、出来栄はいまひとつ。



活動担当者 小林

## 【次回の活動予定】

12月5日(日)10:00より

三芳フィールド作業

作業参加希望者はメンバーメールにてお知らせください。

森林保全活動担当 武田・土金

## 【お知らせ/募集】

### 参加者募集のお知らせ

森づくり集団「<sup>しほり</sup>菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。  
会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。  
私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。  
また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

## 【編集後記】



秋が深くなり、澄み切った空にゆうゆうと飛ぶ猛禽類をよく見かけます。

ふと気がつくと「からす」が離れたところで忙しそうに飛んでいきます。

都心部ではゴミの近くには「ねこ」ではなく「からす」がわが物顔でテリトリーを広げています。くちばしは頑丈で大きく、羽を広げると思わず「恐怖」すら感じます。このからす、童謡のなかでは「かわいい七つの子」「まあいい目をしたいいい子」です。

日本の童謡の中には四季折々、懐かしい風景や言葉がいっぱい詰まっています。そのなかには全ての生き物に優しい目を向け穏やかな気持ちにさせられます。雑木林の中には沢山のことが詰まっているように思うのです。澄み切った空がいつまでも続くように子供たちに引き継いでいきたいものです。

緑川

# 植物の葉

## 葉序 ようじょ

葉のつき方には決まった規則があり、その配列を葉序といいます。  
近種では似た葉序を持つことが多いため判別の目安になります。

### (葉序のいろいろ)

- ・ 対生葉序・・・1つの節に茎をはさむように2枚の葉がつく。  
十字対生・・・多くの対生は隣の節の葉は互いに直行してつく。  
特に茎が四角いものは、これがはっきりしている。  
ナデシコ科、リンドウ科、シソ科など  
2列対生・・・平面的に2列に配列する。
- ・ 輪生葉序・・・茎を取り巻くように1つの節に3個以上の葉がつく。  
偽輪生・・・対生や互生の節の間隔が狭まって輪生のように見えるもの。  
ミツバツツジ、クルマユリなど
- ・ 互生葉序・・・1つの節に1枚の葉がつくこと。  
コクサギ型葉序・・・左右に2個ずつついているように見える。  
もとは十字対生のものが節の位置がずれてこうなっただけ。  
ヤブニッケイなど  
らせん葉序・・・互生葉序のなかにはより光を効率良く吸収するために葉の付き方がらせんを描くようになるものがある。  
これにはある規則性があり、 $1/2$ ・ $2/5$ ・ $3/8$ ・・・葉序という。  
 $3/8$ 葉序とは、茎を3回転して9枚目の葉と1枚目の葉が重なり合う。  
つまり9枚目の葉が出るまで全ての光を吸収することが出来るわけである。  
メマツヨイグサなど

あ



マイヅルソウの赤い実 カヤノ平にて

2010.10.31 撮影

森づくり集団「<sup>しほり</sup>葉」事務局

アドレス [info@mori-shiori.sakura.ne.jp](mailto:info@mori-shiori.sakura.ne.jp)

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子